

平成25年6月14日

大学長 各位

国立教育政策研究所 高等教育研究部
部長 川島 啓二

高等教育開発 国際シンポジウムのご案内
(国立教育政策研究所科学研究費助成事業)

昨年8月の中央教育審議会答申『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて』において、学生の主体的学びの重要性が謳われるに至って、学習の深い意味を踏まえた、質の高い大学教育の組織的展開が求められるようになってきています。今後、さらにそのための改革を実質化していくためには、整合的なビジョンを提示するのみならず、所期の成果に至るためのプロセスと方法を組織的に確立・実行していかなければなりません。具体的には、ツールや手法のさらなる改善・開発、改革の担い手養成や組織変革の道筋、関係者の能力開発などに関わる実践的方法の開発などが求められています。各大学におけるFD活動もこのような考え方を基本に据え、かつ国際的な動向も踏まえながら進化させていく必要があるでしょう。欧州諸国では大学教員に「高等教育機関における教育資格」を求める大学が増えています。また大学院生に対して将来大学教員になるために必要な知識や技術を教える国もあります。こうした取組みの中心を担っているのが、高等教育開発者(Educational Developer)と呼ばれる専門家であり、各国には専門家の団体も結成されています。また、その国際的連合体としてICED(International Consortium for Educational Development)があり、このたびその代表者会議が日本において開かれて各国の高等教育開発者たちが集うこととなりました。

ご案内する企画は、その代表者会議に来日する各国の専門家たちの協力を得て、高等教育開発の国際的動向や我が国における課題を議論し、今後の展望を開こうとするものです。7月13日に京都、7月15日に東京で下記の通りの国際シンポジウムを開催いたします。京都ではワークショップの企画、東京では先導的事例としての英国、オランダに関する報告などが盛り込まれております。大変貴重な機会でございますので、是非皆さまのご来場を賜りたくご案内を申し上げます。

7月13日(土) 「各国の高等教育開発者と語る日本の高等教育開発の未来」

立命館大学朱雀キャンパス

7月15日(月) 「高等教育開発の世界的潮流－未来そして挑戦－」

学士会館

詳細については、同封のチラシ(日本高等教育開発協会のWebサイト(<http://jaed.jp/>)からダウンロードできます)をご覧ください。

<お問い合わせ先> 〒100-8951 東京都千代田区霞が関3-2-2

国立教育政策研究所 高等教育研究部長 川島 啓二

Tel : 03-6733-6971 E-mail : keiji@nier.go.jp

参加
無料



平成25年7月15日（月・祝）13時 開会

定員: 学士会館 in 東京 定員: 200名

シンポジウム開催の趣旨

大学教育の改善・進化を巡る構図は、教授法の開発からカリキュラム・マネジメント、大学教育に関わるガバナンス改革にも及び、錯綜した様相を呈しています。今後、さらに改革を実質化していくためには、整合的なビジョンを提示するのみならず、所期の成果に至るためのプロセスと方法を組織的に確立・実行していかなければなりません。具体的には、ツールや手法のさらなる改善・開発、改革の担い手養成や組織変革の道筋、関係者の能力開発などに関わる（リサーチに基づく）実践的方法の開発などが求められています。各大学におけるFD活動もこのような考え方を基本に据えながら進化させていく必要があるでしょう。本シンポジウムにおいては、このような「高等教育開発」の分野において国際的に先導的経験と知識を有する欧米の専門家組織の代表者や、その連合体であるICED（International Consortium for Educational Development）のJames Wisdom会長、さらには、金子元久・筑波大学教授（日本高等教育学会会長）からの問題提起を受け、参加者による議論を通じて我が国の高等教育の将来を展望します。

会場アクセス



学士会館
〒101-8459
東京都千代田区神田錦町3-28
地下鉄都営三田線/都営新宿線/
東京メトロ半蔵門線「神保町」
駅下車A9出口徒歩1分、東京メ
トロ東西線「竹橋」駅下車3a出
口から徒歩5分、「東京」駅北口
からタクシーで10分

当日プログラム及びお申し込み方法は裏面をご参照ください。

高等教育開発の世界的潮流 — 未来そして挑戦

高等教育開発 東京国際シンポジウム

国立教育政策研究所 科学研究費助成事業
「大学教員に求められる教育能力の質保証と大学教育資格の在り方に関する国際比較研究」

協力: ICED The International Consortium for Educational Development (国際高等教育開発コンソーシアム)
協力: JAEDE The Japan Association for Educational Development in Higher Education (日本高等教育開発協会)

プログラム

13:00-

<趣旨説明>

川島 啓二 (JAED会長、国立教育政策研究所高等教育研究部長)

<基調講演 1>

ジェームズ・ウィズダム (ICED会長)

諸外国では高等教育の質保証に関わって大学教員や将来の大学教員に教育力を求める動きがあります。欧州諸国では大学教員に「高等教育機関における教育資格」を求める大学が増えています。また大学院生に対して将来大学教員になるために必要な知識や技術を教える国もあります。こうした取り組みの中心を担っているのが、高等教育開発者 (Educational Developer) と呼ばれる専門家です。高等教育開発ならびに高等教育開発者の役割に関わる世界的潮流について概説していただきます。

<基調講演 2>

金子 元久 (筑波大学)

<報告 1>

「イギリスの高等教育開発の実情」

ジュリー・ホール (ローハンプトン大学)

高等教育開発の「先進国」として、大学教員の専門職能開発等をリードしてきたイギリスの現状と今後の課題についてご報告いただきます。

<報告 2>

「オランダの高等教育開発の実情」

リーケ・デ・ヨン (ラドバウド大学)

欧州の中央という地理的環境、また、ボローニャプロセスの進展と相俟ってグローバルな視点から職能開発の枠組やその国際的通用性を大胆に進めているオランダの現状とこれからの展望についてお話しいただきます。

<パネルディスカッション>

司会：佐藤 浩章 (JAED理事/愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 准教授)

お申し込み方法 (申込期限：6月30日 ※但し定員に達し次第締め切ります)



【方法1】左記QRコードを読み取っていただくか
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/17431f52249286>よりお申し込み下さい。

【方法2】上記方法が不可能な方は、JAED (日本高等教育開発協会) のWEBサイト (<http://jaed.jp/>) のお申し込みフォームよりお願い致します。

高等教育開発 京都国際シンポジウム

各国の高等教育開発者と語る 日本の高等教育開発の未来

～諸外国のFDは誰によってどのように進められているのか～

参加
無料

定員:300名

平成25年7月13日(土) 13時 開会
立命館大学朱雀キャンパス in 京都

●開催趣旨●

大学教育の改善・進化を巡る構図は、教授法の開発からカリキュラム・マネジメント、大学教育に関わるガバナンス改革にも及び、錯綜した様相を呈しています。今後、さらに改革を実質化していくためには、整合的なビジョンを提示するのみならず、所期の成果に至るためのプロセスと方法を組織的に確立・実行していかなければなりません。具体的には、ツールや手法のさらなる改善・開発、改革の担い手養成や組織変革の道筋、関係者の能力開発などに関わる(リサーチに基づく)実践的方法の開発などが求められています。各大学におけるFD活動もこのような考え方を基本に据えながら進化させていく必要があるでしょう。

本シンポジウムにおいては、このような「高等教育開発」の分野において国際的に先導的経験と知識を有する欧米の専門家組織の代表者や、その連合体であるICED (International Consortium for Educational Development) のJames Wisdom会長からの問題提起を受け、参加者による議論を通じて我が国の高等教育の将来を展望します。また、各国のディベロッパーとのグループ討議を通して、日本の高等教育開発の課題を検討します。

●会場アクセス●



5階大講義室での開催になります

当日プログラム及びお申し込み方法は
裏面をご参照ください。

京都国際シンポジウムプログラム

第1部 高等教育開発とは何か

- 13:00-13:05 開会挨拶 米山 裕 立命館大学教学部長
13:05-13:15 趣旨説明 佐藤 浩章 JAED理事/愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 准教授
13:15-13:45 基調講演 「高等教育開発の世界的潮流」
ジェームズ・ウィズダム (James Wisdom) ICED 会長

諸外国では高等教育の質保証に関わって大学教員や将来の大学教員に教育力を求める動きがあります。欧州諸国では大学教員に「高等教育機関における教育資格」を求める大学が増えています。また大学院生に対して将来大学教員になるために必要な知識や技術を教える国もあります。こうした取組みの中心を担っているのが、高等教育開発者 (Educational Developer) と呼ばれる専門家です。高等教育開発ならびに高等教育開発者の役割に関わる世界的潮流について概説します。

- 13:45-14:45 パネルディスカッション 「各国の高等教育開発の事例」
ICED加盟各国代表者

＜基調講演を踏まえて、ICED加盟各国代表者が事例報告をします＞
【登壇予定者 (変更になる可能性があります)】
Arshad Ahmad (カナダ), Kathryn Plank (アメリカ), Michele Di Pietro (アメリカ), Shelda Debowski (オーストラリア), Julie Hall (イギリス), Kristine Mason O'Connor (イギリス), Helen Guerin (アイルランド), Ann-Sofie Henriksson (スウェーデン), Lars Uhlin (スウェーデン), Torben K. Jensen (デンマーク), Riekje de Jong (オランダ), Marianne Merkt (ドイツ), Joan Rue (スペイン), Ntemela Rachel Madiba (南アフリカ), Arnuparp Lekhakula (タイ)

第2部 今後5年間における日本の高等教育開発の優先事項は何か

- 15:00-16:30 グループ討論 (各教室の通訳はJAED正会員が分担して担当します)
ICED加盟各国代表者と参加者が各教室に分かれて、「今後5年間における日本の高等教育開発の優先事項は何か」について討議を行います。参加者が各国の高等教育開発者と直接対話する機会となります。予想されるトピックとして以下のようなものがあげられます。

- ・FDを推進するために求められる政策は何か？
- ・FDの全学的展開を阻んでいる障害は何か？それをどう克服するのか？
- ・FDを担う専門家をどのように確保・育成していくのか？
- ・FDを担う専門家にはどのような能力が求められるのか？
- ・FDと教学マネジメント改革をどう関連づけていくのか？

- 16:45-17:30 総括セッション ジェームズ・ウィズダム (James Wisdom) ICED 会長
17:30-17:40 閉会挨拶 沖 裕貴 JAED理事/立命館大学教育開発推進機構 教授
18:00- 懇親会 (場所: 1階多目的室)

【お申し込み方法1】

右記QRコードを読み取っていただくか、

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/a99f0b36236630> にアクセスしてお申し込み下さい。

【お申し込み方法2】

上記方法が不可能な方は、JAEDのWEBサイト (<http://jaed.jp/>) のお申し込みフォームよりお願い致します。



申込期限: 6月30日
(但し定員に達し次第締め切ります)